

令和7年度 第4回 宇和島市学校給食運営審議会

議事概要

- 1 日時 令和8年3月4日(水) 10:00～10:15
- 2 場所 宇和島市役所 7階教育長室
- 3 次第
 - 開会
 - 答申
教育委員会諮問「宇和島市学校給食の運営等について」
(令和7年7月28日付7字教委給第141号)への答申
 - 教育長謝辞
 - 閉会
- 4 出席状況
 - 委員
会長 松浦祐介 ・ 副会長 三好めぐみ
 - 教育委員会
教育長 教育部長
 - 事務局
学校給食センター所長、同所長補佐

1 開会

(事務局)

開会を宣言。

宇和島市学校給食運営審議会においては、宇和島市教育委員会から、令和7年7月28日、児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食を継続して提供できるよう「学校給食提供体制のあり方」及び「給食無償化後の学校給食」について諮問を受け、児童及び生徒の保護者、市立学校の校長及び教職員、学識経験者の17名で構成する審議会にて、審議・検討いただき、今回、答申をまとめていただいた。

本日は、審議会を代表し、松浦祐介会長、三好めぐみ副会長から、教育長に答申いただく。

2 答申

(会長)

教育委員会から令和7年7月28日に諮問されました「宇和島市学校給食の運営等について」に関し、学校給食運営審議会で、慎重に審議・検討した結果を答申いたします。

まず、給食提供体制のあり方について、本市においては、複数の共同調理場と自校式調理場を併用する提供体制を敷き、それぞれの地域特性や学校規模に応じた柔軟な対応を可能としており、現行の提供体制は一定の合理性を持つものと考えます。しかしながら、児童生徒数の減少や学校統廃合が進行する中で、各調理場の稼働率低下や維持管理コストの増加が懸念され、給食の安定的な提供体制が将来的に脅かされる可能性があります。

この現状を踏まえ、調理場の再編は不可避であると考えます。

方向性として、共同調理場については、中央学校給食調理場を存続させ、吉田町学校給食調理場及び三間町学校給食調理場の業務を中央調理場に集約すること。自校式調理場については、所在場所、学校統廃合の進捗状況等を考慮し、存続の必要性を個別に判断すべきと考えます。

なお、再編に際しては、配送時間の長時間化による給食の品質低下や緊急時のリスク対策等に対応できる体制を構築する必要があること。また、再編対象となる共同調理場との取引していた地元業者に対し、取引減少などの影響については、配慮を要します。

次に、給食無償化後の学校給食について、現在、調理場ごとの運営形態や食材調達ルートの違いにより、保護者等の負担する給食費や献立内容に差異が生じていることは、児童生徒間の公平性を欠き、市が提供する公共サービスとして見直しを要する状態であると考えます。

今後、給食費が無償化された後においては、財源が全て公費となることから、

市民に対し等しく質の高い給食を提供することが責務となり、この機会を捉え、給食の質向上、提供内容の平準化及び保護者負担給食費の統一を図るべきであると考えます。

方向性としては、基本献立の導入等により、提供内容の平準化を図ること。調理場ごとに差異が生じている保護者負担給食費を統一すべきと考えます。

平準化等にあたりましては、献立の平準化は、特色ある献立を排除するものではなく、質の高い献立水準への統一を目指すべきであり、また、特別な学校行事食等については、柔軟な対応が必要であることなどに考慮を要します。

審議会委員からは、答申書に記載している以外にも、「調理場再編において、配送時間が長時間となることに伴い、2時間喫食を含めた適切な対応を要すること」「食育の更なる推進を図っていただきたい」といったご意見がありましたので、お伝えさせていただきます。

結びとしまして、本答申は、将来にわたり宇和島市の全ての子どもたちに対し、安全で質の高い給食を安定的に提供するための喫緊の課題への対応と、公平性の確保という二つの視点から提言を行うものでございます。

教育委員会におかれましては、本答申の趣旨を深くご理解いただき、学校、保護者、関係機関と連携の上、実現に向けた具体的な施策を推進されるよう強く要望いたします。

以上でございます。

よろしく願いいたします。

－ 副会長から教育長へ答申を手渡し －

3 教育長謝辞

(教育長)

宇和島市学校給食運営審議会の松浦会長をはじめ、委員の皆様方におかれましては、令和7年7月の諮問以来、約8ヶ月という長きにわたり、本市の学校給食のあり方について、慎重かつ熱心にご審議をいただきました。ただいま、その集大成としての答申を賜りましたこと、まずは厚く御礼申し上げます。

今回の答申では、少子化や学校統廃合という社会状況の変化を見据えた「提供体制の再編」、そして給食費無償化に伴う「公平性の確保と質の向上」という、本市の教育行政にとって極めて重要かつ喫緊の課題に対し、明確な指針を示していただきました。

特に、調理場の集約という大きな変革の方向性については、効率性のみならず、配送時間の課題や地元業者への配慮など、現場に即したきめ細やかな視点からご提言をいただきました。

また、給食費の無償化に伴い、財源が公費となる中で、「どの学校においても、等しく質の高い給食を受けられる」という公平性の担保、そして本市の特色である地場産物の活用や食育の推進を両立させるという視点は、これからの宇和島市の給食が目指すべき姿であると強く認識しております。

教育委員会といたしましては、本日いただきました答申の趣旨を重く受け止め、将来にわたり、宇和島の子どもたちへ安全で美味しい学校給食を安定的に提供し、子どもたちの心身の健やかな成長を支えてまいる所存です。

松浦会長をはじめ委員の皆様これまでの多大なるご尽力に、重ねて深く感謝の意を表しますとともに、今後とも本市教育行政への変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます、謝辞といたします。

4 閉会

(事務局)

本日の議事録を公開とするので了承願う。

閉会を宣言。